

石教振音楽部会 授業研

第3・4・5・6学年音楽科学習指導案

日 時 2023年6月30日

児 童 石狩市立浜益小学校小学校

3年6名

4年6名

5年4名

6年6名

指導者 吉 弘 文 人

太 田 竜 斗

外 崎 邦 和

1. 題材名 歌声ひびかせて 教材「この山光る」「ホルディリディア」「ハローシャイニングブルー」

2. 題材観（教材観）

この題材では、歌声づくりの導入として、子どもたち一人一人が声の響きを意識して歌うこと、旋律の特徴を生かした歌い方について考えて歌うことをねらいとしている。

「この山光る」では、歌うような高い声で「ヤッホー」と言うことで、喉に負担をかけないきれいな声を見つけ、その声で「ホラヒ ホラホ」の部分の、跳躍した高い音を歌わせたい。また、旋律のリズムが、弾むような前半と、ゆるやかな後半では倍の長さになっていることに着目させることで、後半ののびのびとした歌声につなげさせたい。

「ハロー・シャイニングブルー」では、声をとばす方向を意識させることで、声帯の筋肉を働かせて、サビの部分ののびやかな高音を歌う気持ち良さを味合わせたい。

3. 題材の目標
- 自然で無理のない歌い方で歌う技能を身につける。
 - 曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。
 - 主体的・協働的に学習活動に取り組み、歌声の響きに親しむ。

4. 児童の実態

3・4・5・6年の4学年合同で音楽の学習に取り組んでいるため、指導にあたっては、A年度、B年度、C年度、D年度の指導計画を作成し、4年間かけて学習が完結するように取り組んでいる。ただ、3・4年生と5・6年生では、「知識・技能」においても、「思考・判断・表現」においても差が大きいいため、歌唱領域、器楽領域それぞれで、対応策をとっている。歌唱については、各年度の前半で歌唱教材を斉唱で歌えるようにして、年度の後半でその歌唱教材を合唱で歌えるようにすることで対応している。リコーダーについては、5・6年生は朝の時間に週2回「リコーダーの時間」を設定し、ファの指使いや、#、bの指使い、サミング奏法を身につけられるようにしている。器楽演奏については、1・2・3年生と4・5・6年生に分かれて取り組む学芸発表会時期に集中的に取り組むようにして、その他和太鼓や、簡単な合唱奏については、4学年合同学習の中で取り組んでいる。

音楽アンケートの結果

1. 音楽の学習は好きですか？

・好き 14 ・ふつう 7 ・きらい 0

2. 歌で楽しいことはどれですか？

・ピアノにあわせて歌うこと 11 ・CDに合わせて歌うこと 9 ・その他(話し合っ決めて曲をみんなで歌う) 1

3. 歌でにがてなことはどれですか？

・みんなで合わせて歌うこと 7 ・一人で歌うこと 14

4. リコーダーで楽しいことはどれ？

・テッテターと口でやること 7 ・CDに合わせて演奏すること 14

5. リコーダーで苦手なことはどれ？

・みんなで合わせること 5 ・一人で演奏すること 12 ・その他(苦手なし) 2 ・むずかしいこと 1

音楽が好きな子は多いが、歌もリコーダーも一人で歌ったり演奏したりすることが苦手な児童と、みんなで合わせる人が多い児童とに分かれている。一人で歌ったり演奏したりすることが苦手なことはよくあることだが、みんなと合わせる事が苦手な児童は、歌っている時の音程や声質などに違和感を感じたり、リコーダーのホールを正しくおさえていても、周りの人が出す音との違和感を感じているものと思われる。だからこそ、様々な声の出し方を体感させ、自分に合った声の出し方、正しい音の出し方を体感させ、体得させたいと考える。

5. 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気づいている。また、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方について気をつけ、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身につけている。	旋律、音色、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	旋律の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

6. 指導計画と評価計画（3時間扱い）

	指導内容	観点別具体的評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
1	<p>○「この山光る」を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴き、大まかに曲の感じを捉える。 ・歌詞の内容を理解して歌う。 <p>○「この山光る」をふさわしい歌声(音色)を探して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高い歌うような声で「ヤッホー」と言ってみる。 ・上記の声をもとに「ホラヒ ホラ 	「この山光る」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気づいている。		旋律の特徴を生かして表現することに興味を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

	<p>ホ」の部分の高い声を意識して歌い、互いに聴き合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ホルディリディア」を、高音を歌う声に注目して聴く。 ・「この山光る」を歌声に気をつけて歌う。 			
2	<p>○「この山光る」を旋律の特徴を生かして歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時を思い出して、「この山光る」をどのように歌えばいいか、ブレインストーミングで出し合う。 ・出し合ったことを気をつけて歌う。 ・前半と後半のリズムの違いを確認し、歌い方にどんな違いをつけられればいいか、話し合う。 ・話し合ったことを気をつけて歌う。 <p>○ハロー・シャイニングブルー」を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴き、大まかに曲の感じを捉える。 ・歌詞の内容を理解して歌う。 	<p>思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気をつけ、「この山光る」を自然で無理のない歌い方で歌う技能を身につけている。</p>	<p>「この山光る」の旋律、音色、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	
3 本 時	<p>○「ハロー・シャイニングブルー」をふさわしい歌声（音色）を探して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆうれいの声、ミッキーマウスの声、目玉のおやじの声で歌ってみる。 ・自分に合った声を選んで歌ってみる。 <p>○「ハロー・シャイニングブルー」を旋律の特徴を生かして歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者のメッセージを読み、各自がいいなと思った部分の旋律を出し合う。 ・出し合った部分の旋律の違いを確認する ・確認をもとに、「ハローシャイニングブルー」を前半と後半をどのように歌えばいいか、話し合う。 ・話し合ったことを気をつけて歌う。 	<p>思いや意図に合った表現をするために必要な、周りの歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身につけている。</p>		<p>自分たちで工夫して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>

7. 本時の目標

曲想と旋律に合った歌い方を考えて、表現を工夫することができる。**音色**、**旋律**、**変化**

8. 本時の展開（3 / 3）学習内容

<p>学習内容 (共通事項を知覚・感受する場面を記述)</p>	<p>教師の関わりと評価規準・具体的評価方法 ☆共通事項を知覚・感受するための手立て ※指導の留意点 △目標に到達していない児童への支援 □具体的評価規準【 】評価方法</p>
<p>導入</p> <p>1. リコーダーで「サンバでGO」「夕焼け超特急」を演奏する</p> <p>2. シラソでリレーに挑戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師と児童全員で ・児童のリレーで 	<p>※タンギングを意識させる</p> <p>※ホールのふさぎ具合を指の跡で確認させる △まずシ、次にラ、そしてソの優先順位を伝える</p>
<p>展開</p> <p>3. 前時の学習を振り返り「この山光る」を歌う。</p> <p>4. 本時の学習の課題を知る。</p>	<p>☆ア、アのホラヒー、イ、イのホラヒーの歌い分けを思い出せるようにカードを提示する。 音色 旋律 変化</p>
<p>「ハロー・シャイニングブルー」にぴったりの声で歌おう</p>	
<p>5. 「ハローシャイニングブルー」にぴったりの声をさがす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うれしいの声で1番を歌ってみよう ・ミッキーマウスの声で2番を歌ってみよう ・目玉のおやじの声で1番を歌ってみよう ・3つの声の中で、いちばん合うと思った声で2番を歌ってみよう ・それぞれが選んだ声を確認する <p>6. 「ハロー・シャイニングブルー」を旋律の特徴を生かして、前半と後半で歌い方を変えて歌う。</p>	<p>☆うれしいの声の音源 音色 ☆ミッキーマウスの声の音源 音色 ☆目玉のおやじの声の音源 音色</p> <p>□自分のイメージをもとに、歌い方を選んでいるか。 【活動の様子・挙手】</p>
<p>言語活動I</p> <p>・作者のメッセージを読んだ上で、各自がいいなと思った部分の旋律を出し合う。</p>	<p>※楽譜のホワイトボードと赤のマーカーを用意。グループごとに3分で記入させる。</p>
<p>・出し合った部分の旋律の違いを確認する</p>	<p>※教師の弾くメロディーと楽譜上の旋律で確認させる。</p>

	<p>言語活動2</p> <p>・確認をもとに、「ハローシャイニングブルー」を前半と後半をどの声で、どのように歌えばいいか、オープンクエスチョン(2階層)で話し合う。</p>	<p>※考えと理由の2階層のオープンクエスチョンを5分で話し合わせる。</p> <p>△理由が明確でなくてもよしとする</p>
	<p>7. 話し合いをもとに「ハロー・シャイニングブルー」の前半、後半で歌い方を変えて歌い分ける。</p>	<p>□自分のイメージをもとに前半と後半で歌い方を変えて、歌い分けているか。</p> <p>【歌声・話し合い・ホワイトボード挙手】</p>
<p>ま と め</p>	<p>8. 学習のまとめとして、「つばさをください」の前半、後半を「ハロー・シャイニングブルー」と同じ声で歌い分けてみる。</p>	<p>□前半と後半で歌い方を変えて、歌い分けているか。</p> <p>【歌声】</p>

9. 評価

- ① 曲想と旋律に合った歌い方を考えて、表現に対する自分の思いを表出していたか【主体的に取り組む態度】
- ②自分の思いに合った声の出し方で、楽曲に合わせて表現しようとしていたか。【思考・判断・表現】